

山形県沖地震に伴う瓦屋根復旧支援について

1. 被害及び復旧状況（令和2年5月20日現在）

り災証明発行数・930棟の内、瓦屋根被害のあった住宅は646棟（空き家を除く）。

支援事業は迅速かつ着実に実施しており、所有者の意向を踏まえつつ、令和2年6月30日までに申請受付を終了、9月30日までに実績報告書を提出いただき、緊急的な支援を完了する予定。

(1) 支援完了(9月)迄に修理完了見込みの住宅 … 620棟 (96%)

(2) 支援完了(9月)後も通常支援・相談を継続 … 最大26棟 (4%) ※次ページ参照

	解体	修理不要	修理着手 修理完了	契約済み 着工待ち	小計	見積中	未定	不明 (調査中)	小計	合計
5/20 現在	18棟	25棟	539棟	38棟	620棟 96%	17棟	4棟	5棟	26棟 4%	646棟
	契約済～修理完了等 (1)					重点的支援 (2)				

(3) 重点的支援（修理・生活支援等の相談）対象への支援経過

各種広報や個別連絡、自治会の協力等により、補助事業や無利子融資、瓦工事業組合と連携した施工迅速化を実施した。

加えて、家庭状況等の福祉的要素について、約120件に訪問調査等を行い、社会福祉協議会と連携した資金貸付の実施や、生活保護世帯での住宅扶助費による修繕、市営住宅への入居のほか、生活状況に応じた就労・生活相談、親族による支援の相談等、個別の相談・支援を関係機関と連携して実施してきたところ。

支援事業の完了後も、住宅修理の相談、生活福祉等の支援を継続していく。

2. 各種支援事業の実施状況（令和2年5月20日現在）

(1) 補助金による支援

いずれの事業も迅速かつ着実に実施しており、申請期限を令和2年6月30日とし、実績報告期限の9月30日までに完了予定。

① 瓦屋根修繕緊急支援事業

30万円以上の屋根修繕（工事費の20%、上限40万円）

申請受付件数	補助金額	予算執行率	実績報告件数
405件	87,914千円	73%	365件 90%

② 被災住宅耐震性向上改修支援事業

屋根修繕と耐震化両方行う30万円以上の工事（工事費の40%、上限60万円）

申請受付件数	補助金額	予算執行率	実績報告件数
37件	21,389千円	72%	30件 81%

③ 屋根瓦ブルーシート応急対策支援事業（土木課）

応急復旧費用（上限8万円）

申請受付件数	補助金額	予算執行率	実績報告件数	
95件	5,610千円	55%	94件	99%

(2) 融資による支援

- ・つるおか版 被災住宅無利子融資制度（9月30日まで融資申込受付）

住宅金融支援機構、鶴岡信金、JA鶴岡、JA庄内たがわ（融資上限額200万円）

申請受付件数	平均融資申込金額	融資申込総額
66件	1,480千円	97,703千円

(3) 災害廃棄物仮置き場の設置

瓦屋根復旧支援事業に伴う災害廃棄物は、9月末まで継続して受け入れ予定。

3. 今後の見通しと取り組み

(1) 修繕工事の進捗状況

- ・温海地域の一部(鼠ヶ関)は、地元業者との結びつきが強く修繕依頼が集中
工事の完了は8月頃になる見通し
- ・上記以外の地区は、大部分の工事が6月中に完了する見通し

(2) 6月末の申請終了と9月末の事業完了に向けた周知徹底

- ・支援を受けられない被災者が出ないように、自治会との連携したPRを行う
- ・被災者へのダイレクトメールを郵送（3回目）する
- ・電話連絡により支援事業の周知徹底を継続する

(3) 福祉的要素に係る長期的な支援

金銭的理由や家庭事情等で住宅修理や生活が困難な方に対しては、支援事業完了後も、福祉課を中心に関係機関と連携し、必要な制度のアドバイスや手続きの手伝いなど、引き続き福祉的支援を継続する。

【参考】支援終了(9月)後も通常支援・相談を継続する方の状況と支援内容

状況	件数 (R2.5)	理由	支援の内容
見積を依頼中で工事費未定	9件	・生活への支障なく、修繕の緊急性が低いなど消極的に業者待ち	・早期着工/補助活用の働きかけ ・施工業者との連絡調整
見積を受領し施工は検討中	8件	・資金不足による未着工 ・建て替えも検討 ・生活保護世帯 ・軽微な被害のため留保	・無利子融資・福祉貸付相談 ・改築/新築相談 ・生活保護支援
対応未定	4件	・申請者死亡、入院 ・資金不足のため検討	・社協による継続支援 ・市営住宅入居案内 ・無利子融資・福祉貸付相談
不明（調査中）	5件	・電話不通、住人不在	・DMによる通知 ・自治会と連携した状況把握
合計	26件		